

# はままつ



《重点教育目標》「わかる できる つかえる 伝わる」を実感できる子の育成

八雲町浜松239 TEL62-2462 FAX62-3190

学校HP: <https://www.town.yakumo.lg.jp/site/hamamatsu-es/>

令和5年6月30日

## 5人でキラキラ、協力して取り組もう

校長 中田和久

6月11日（日）に運動会を実施しました。当日は、保護者、地域の皆様からたくさんのご声援、誠にありがとうございました。また、保護者・一般種目にも積極的にご参加いただき心よりお礼申し上げます。

さて、今年度の運動会は、この数年間のコロナ禍での実施方法から、今年度はどのように工夫して行えばいいか、教職員で話し合うことから始まりました。本校の運動会のねらいは、

- ① めあてをもって体育活動に取り組ませ、意欲や向上心、努力する心を育てる。
- ② 集団の一員としての自覚をもたせ、お互いに協力する態度を育てる。 です。

このねらいを達成するために、マイナス要因として考えられる人数が奇数であることや、学年がバラバラで走力などの運動能力の差が大きい等のことから、紅白に分けずに、

- ① 練習段階の記録を基に一人一人の運動能力に応じた目標（ミッション）を設定する。
- ② 5人を一つのチームとして、お互い協力して取り組める目標（ミッション）を設定する。

こととしました。

それぞれの競技の目標（ミッション）は、個人種目は児童と担任の先生が相談して、団体競技は、5年生が中心となり、5人の児童で話し合っ決定しました。練習を進めていく中でクリアできる目標は、より高い目標に変更していきました。当日に向けての最終段階が下の表になります。

種目名	ミッション旗の色	ミッション
徒競走	あお	3人以上が目標タイムをこえる。
じゃんけんすごろく	みどり	16回以内に3人以上がゴールする。
借り人競争	あか	2組あわせて、2分半以内にゴールする。
玉入れ	シルバー	25個以上カゴに入れる。
リレー	ゴールド	目標タイム 1分35秒以内にゴールする。

運動会当日は、競技の前後に、「〇〇さんの目標タイムは、〇〇秒△でした。ただ今の記録は〇〇秒◆だったので、ミッションクリアです！」というように、放送で児童や参観者にお知らせしました。児童がミッションをクリアできなくても、参観者から児童の頑張りに対する拍手をいただきました。児童と参観者がそれぞれの競技で何を目指して頑張っているのかを放送によって共有することができました。総練習では、5つのミッションのうち2つしかクリアできなかったのですが、本番では、総練習の時より厳しいタイム等を設定していたにもかかわらず、5つのミッションをすべてクリアすることができました。これは、授業中の練習での頑張りはもちろん、休み時間にもバトン練習や玉入れの練習を自主的に行った成果であり、当日参観された皆様の温かい声援のおかげです。



5つのミッションコンプリート！

この日、児童会で決めた運動会テーマ「5人でキラキラ 協力して楽しもう」のとおり、5人の児童が全力で取り組む姿は、一人一人が輝きを放っていました。この運動会をとおして、5人の児童は、目標に向かってあきらめないでがんばることの大切さと、みんなで一つのことを協力してやり遂げるることの大切さを感じてくれたと思います。この経験を今後の学校生活にも生かしてほしいと願っています。

今後子どもたちにとってよりよい教育活動を展開できるよう、教職員一丸となって進めていきますので、変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

## 7月の主な行事予定

3日(月)	全校朝会 眼科検診(八雲中) ALT来校	13日(木)	読み聞かせ会 エナジータイム
4日(火)	水泳学習①	14日(金)	一日防災学校 5時間授業 (避難訓練、及び引き渡し訓練)
5日(水)	移動図書 クラブ活動④	17日(月)	海の日 子ども神輿巡行(登校日)
6日(木)	エナジータイム	18日(火)	振替休業日
10日(月)	授業参観・懇談会 ALT来校	19日(水)	水泳学習③ 児童会活動⑤
11日(火)	新幹線トンネル工事見学(4・5年生)	20日(木)	エナジータイム
12日(水)	水泳学習②	24日(月)	3時間授業 休業前町会 大掃除
		25日(火)	夏休み開始(～8月23日)

## きれいな浜松にしよう(地域清掃活動)

6月22日(木)、全校児童がオコツナイタイムの学習(生活科、及び総合的な学習)で、地域の清掃活動を実施しました。清掃は3つのグループに分かれて行いました。

1年生は国道に出て、山越方面へ向かって右側の歩道(遊楽亭さん側)のゴミを拾い、つばさ学級(3年)とおおぞら学級(4年)の二人は、国道の左側の歩道のゴミを拾いました。4・5年生は一足先に出発し、金太郎さん方面から浜松小学校方面にもどりながら、歩道周辺のゴミ拾いをしました。

普段はあまり気を付けて見ることのない道路も、よく見ると、空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻や紙くずなど、たくさんのゴミが落ちていることに気が付きました。

児童が一生懸命ゴミ拾いをしている様子を、車で通りかかったトンネル工事の業者の方が見て、飲み物等を差し入れてくださいました。

活動が認められることは、子供たちにとって大きな励みになります。環境を守ることの大切さや奉仕の心がさらに育ってほしいものです。



## 子ども育成会より

### 「資源回収」へのご協力ありがとうございました

6月17日(土)に、浜松子ども育成会主催の「春の資源回収」が行われました。地域の皆様のご協力のおかげをもちまして、たくさんの資源を回収することができ、先日、無事に回収業者に引き渡すことができました。ありがとうございました。

**次の資源回収は10月7日(土)**の予定です。次回もご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



### 子どもみこし・親子レクレーションについて

3年ぶりに浜松神社の「子ども神輿」を行います。今年度は、児童数の減少やクマの出没の影響から中止も検討されましたが、少しでも子どもたちに地域の伝統行事を体験させたいという願いから、安全対策として、浜松小と神社との往復のみとし、規模を縮小して実施することとしました(詳細はうら面)。また、恒例の親子キャンプも、「親子レクレーション」として実施する予定です。詳細は育成会会員の方に別紙にてお知らせいたします。ご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



うら面もご覧ください。

# 浜松小学校の運動会を成り立たせるもの

運動会担当 教諭 遠藤 輔

<本校の運動会のねらい>

- ・子どもの運動面における成長が実感できるようにすること。
- ・子ども自身が「やればできる」という達成感を味わい、挑戦意欲を高めること。
- ・子どもたち同士で協力し合うことで一体感を感じ、自身の生き方を広げること。

6月11日(日)に、運動会を開催しました。新型コロナウイルス感染症が5類となり、昨年度のような制限はなくなったとはいえ、人が集まるのか少し心配していました。しかし当日は、たくさんの方々を足運んでいただいただけでなく、競技にも積極的に参加していただき、賑やかで楽しい会となりました。ありがとうございました。

今年度は全校児童が5名となったため、紅白に分けることはせずに、ミッションクリア型の運動会としました。それを踏まえて児童会で話し合い、テーマは「5人でキラキラ!協力して楽しもう!」となりました。勝敗ではなく、協力したり楽しんだりして輝く姿を見せたい、という気持ちがよく現れています。

このテーマのもと、5年生の掛川海翔くんが中心となって、みんなを引っ張りながら練習に励みました。

例えば、徒競走。友達と競うのではなく、一人ひとりが自分で設定した目標タイムを越えられるかどうか、ミッション達成の条件となりました。子ども達は、0.1秒でも速くゴールできるよう、教え合い、励まし合いながら練習しました。本番では、5人全員が目標のタイムを超えることはできませんでしたが、練習の初めと比べると、確実に速くなりました。一人ひとりが、運動会のねらいの一つである「成長の実感」をしたはずで。

そしてリレー。今年度は、5人でバトン運び、グラウンド3周半のタイムを計ります。練習時のタイムを越えられるかどうか、ミッション達成の条件です。練習では、バトンパスが課題でした。最後にバトンの受け渡しをする水野綾美さんと掛川海翔くんは、特に熱心に練習に打ち込み、休み時間も自主的に練習をしていました。本番では5人でスムーズなバトンパスをすることができ、ミッションも達成することができました。ねらいの一つである、「やればできるという達成感を味わう」ことができたはずで。

本番では、テーマの通り、5人で協力して取り組みました。満水リレーでは、負けて泣く児童もいたほど、真剣に取り組んでいました。そして、じゃんけんすごろくやマイム・マイムに取り組む様子から、楽しんでいる姿も見ていただくことができたと思います。

運動会はこの6月11日で終わりましたが、運動会の学びは続いていきます。練習や本番を通して学んだことや身につけたことを、これからの学校生活に活かしていくことが、「自身の生き方を広げること」に繋がっていきます。

本校の運動会のねらいは上記の通りです。また、国が定めている健康安全・体育的行事は「規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上など」がその内容とされています。

つまり、運動会は必ず組分けをしなければならないということもなく、勝敗を決めなければならないということもありません。運動会に限らず、学校行事は子ども達の成長のために実施されます。その成長を最大化するべく話し合いを重ね、今年度はミッションクリア型の運動会となりました。

では、これらのねらいを、別の見方をするとどうでしょうか。見方によっては、地域の方々や保護者の方々の参加もまた、運動会には必ずしも必要ない、ということにならないでしょうか。

確かに、観客がいなくても先述のねらいの観点だけで見れば、「運動会」は成り立ちます。しかし、地域の方々・保護者の方々に参加していただくことで、子どもたちが受け取るもの、知ることはたくさんあります。例えば、応援は力になるということ。大人も競技で熱くなるということ。地域の方々に大切に思われているということ。自分たちの頑張りや大人は喜んでくれるということなどです。

今回の大人参加競技の盛り上がりを見て、昨年度一昨年度の、コロナ禍であっても参加していただける姿を見て、そしてそれを喜ぶ子ども達の姿を見て、「浜松小学校の運動会」に、地域の方々・保護者の方々の参加は不可欠なのだと感じました。

子ども達の頑張りはもちろんですが、それだけではなく、大人の温かい眼差しと熱い想いがあって初めて、浜松小学校の運動会は成り立つのだと実感しました。

5人がキラキラと輝き、協力して楽しむことができたのは、皆様のご理解とご協力があったからこそです。重ねて、感謝申し上げます。今後も子どもたちにとってよりよい教育活動を展開できるよう、教職員一丸となって進めていきますので、変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

